

# 会報

第22号 (2014/9/26)

広島県福山市木之庄町4-3-14  
Tel&fax: 084-917-5937  
e-mail: info@ccrc-fukuyama.org



Community Resource Research Center

## これからの行事予定



### 「童謡からシャンソンまで」

「歌詞に込められた意味を読み解く」

「フルーツティーを飲みながら」

・日時：10月4日(土) 14時～16時  
・講師：江藤朝子さん(お話)

三浦貞江さん(フルーツティー)

・場所：ルネッサンス研究所集会所

・参加費：500円

やなせたかしさんのアンパンマンの歌にも彼の様々な想いが込められています。「赤トンボ」のように日頃何気なく口ずさんでいる歌の、歌詞の持つ意味を考えてみませんか。



## 仁伍音楽祭

例年のように、11月上旬～中旬の土曜日か日曜日に地域の絆で仁伍音楽祭があります。そこで皆様へのお願いです。

お願い①：本NPOは例年のようにリサイクルバザーを出店予定です。お宅で眠っている不要品がありましたら10月中にお送りください。

お願い②：仁伍音楽祭の当日、バザーの販売等のお手伝いが出る方はお申し出をお願いします。(日程が決まり次第お知らせします)

## 福山市北部の産業観光ツアー

・日時：11月28日(金) 9時～17時

・場所：福山市北部地域(詳細は次回ニュースでお知らせします)

・参加費：3千円

・講師：藤井輝明さん(福山市大教授)

福山市北部は江戸時代より綿やカスリの三大産地として有名な備後ガスリなどが盛んなところでした。その綿産業近代化に伴って、鋳物・金属加工、機械木工など様々な産業が起り、今日のオンリーワン・ナンバーワン企業の多い地域へと発展して来ました。今回はその中のほんの一部の企業を巡りながら、この地域の技術や産業の発展を辿ってみませんか。

## 小物づくり

「地域の絆」の仁伍音楽祭等でバザーを行うなかで、会員の中から「地域の絆の利用者さんとか何か小物づくりをし、それを作った人達に売ってもらったらどうだろう」と提案があり、昨年の仁伍音楽祭から小物づくりを当NPOで始めました。

そうした作業で高齢者の方々と触れ合うことで、認知症になるとはどんなことなのか等、様々なことを学ばせて貰いました。そこで、小物づくりのお手伝いを会員の皆様にもお願い出来たらと思っています。お手すきの方はぜひご参加ください。日時は10月上旬～11月上旬にかけて平日の午後、当NPOの講義室で行います。



いずれもFaxまたはメールで申し込んでいただければありがたいです。

そのほか、ヴァンダナ・シヴァの「いのちの種を抱きしめて」のビデオを見る会、干し柿づくり、紙芝居「被爆アオギリ物語」を英語で聞く会、そば打ち道場なども企画中です。

## なりすまし詐欺(振り込み詐欺)の被害にあつて

9月13日(土)14時から、実際になりすまし詐欺にたつた原奉宣さんのお話を聞きました。参加者は7名。お話をしてもらう前に、講師の原さんはなんと藤原さんと高校の同級生であったということがわかり、盛り上がりました。

原さんは神戸税関などに勤務していて、輸入食品の実情を皆さんに広めなければ、と神戸港ツアーなどを企画されていました。しかし今は女性雑誌などにも輸入食品の特集が掲載されるようになり、退職して時間も経つたので、今回は自分の遭遇したなりすまし詐欺の状況をお話してもらいました。以下その概要です。

### 一、被害の増加はモラル・ハザード？

振り込み詐欺の被害が増加しているが、その理由を考えてみるのにモラル・ハザード(保険業界の言葉から転じて、責任感や倫理観の欠けた状態をさす)社会が問題ではないかと思う。

以前テレビで中国の「悦悦ちゃん事件」という番組を見て、中国のモラル観の低さを感じた。この事件は、2才の悦悦ちゃんがトラックにはねられたが、母親が走り出るまで、そのそばを18人が通つても誰も助けず、しかも車が一台その子の上を通つて行った。

しかしこうした状況は日本でもあるんだ、という経験をした。常石からの帰り、いつもと違つて

渋滞していた。車も何かをよけて通つており何だろうと思つて近づいてみると、若い女性が原付バイクで倒れていた。自分は車を停めて女性を助け起こしたが、そばを車で通る人は誰も手伝わなかった。

東日本大震災の際、外国であのような状態になつたら食料の略奪が起きて大変なことになると言われたが、日本では自分も被害者であるのに他の人を助けている、という状況が一方ではある。

### 二、詐欺被害は個人が気を付けていけば防げるのか？

さて、還付金詐欺やなりすまし詐欺の被害に遭つているのは60代以上の高齢者が85%を占め、90%は女性であり、被害額は590億にのぼっている。こうした詐欺被害を減らすには、多くの人は本人の注意が第一だと思つている。しかし現実には多くの人が被害に遭つており、個人が気を付ければなくなる問題ではない。その原因のひとつひとつを洗い出して、モトを断たなければダメだと思つて。

### 三、自分の遭つた被害の経緯、被害者の実態はどれだけ明らかになっているのか？

自分の遭つた被害を報道した中国新聞の記事は「50万円を振り込み、その後息子に電話して分かつた」と淡淡としたものであり、被害者の怒りは出ていなかった。そこで新聞社に意見を言つ

たら、「騙されるほうが悪いのか？」という特集記事になった。

被害の経緯は次の通りであった。

#### (1) 最初の電話

9月5日19時頃電話があり、「誰？○○か？ひどい声じゃなあ」と息子の名前を言つてしまった。そして妻に自分の子どもからの電話だ、と言つて代わり、内科がよいか耳鼻科がよいかと話していた。最後に自分の携帯が故障したから新しい番号を控えて、と言つたのでその番号を控えた。

#### (2) 再度の電話

翌日、病院の診療が済んだと思われる11時頃に電話がかかつてきて妻が出た。妻が変な声を出したのでどうしたのかと思つたら、「医者でほしいしたことないと言われた。しかしお願いがある。他所の女に子どもが出来た。弁護士に頼んでいるが100万円を今日中に払わなければならぬ。振り込んで貰えるか」と弁護士名義という口座番号を言った。自分達の孫が3人もおり、そんなことをする子どもではないと思つていたから、自分たち夫婦は頭が真っ白になつてパニック状態に陥つていた。息子の嫁さんには言えないことだと思つて、「これからすぐ振り込んでやる」と言つた。

#### (3) ATMで振り込むまで

慌ててカードを持って車で銀行に走つた。すると次々に電話がかかつてきた。「今ATMの前に

並んでいる」と言うと、「よく聞こえないから外で話してくれるか」と外に出るように指示され、「実は口座の銀行名が間違えていたので、〇〇銀行の口座に振り込んでくれ」と言った。(※これらに使われる口座は、口座屋というところあたりにはたむろしている者にお金を渡して口座を作らせたものを使うので一度しか使えない。)

ATMで振り込もうとするがうまくいかずもたもたしていると、銀行員が来て「一日に50万円までしか振り込めないですよ」「詐欺ではないですか？大丈夫ですか？」と言われたので、「これは息子だから大丈夫」と答えた。再度携帯に電話して「50万円しか振り込めない」と言うと「50万円だけでも振り込んで」と言っているので、ATMで50万円を振り込み、残りは郵便局で振り込むことにした。

#### (4) 少し冷静に

郵便局で振り込むために車を運転していると「ちょっと待てよ」という気持ち湧いてきた。50万円振り込んだので、少しは息子を助けてやれたか、と安心したためか、真っ白になっていた頭に血が流れ出したようだ。

あとで考えてみると、ずっとちょっとひっかかるものがあったように思う。

そこで故障しているという息子の携帯に電話をしてみると、呼び出し音が鳴ったが仕事中心の息子は出なかった。そこで息子の嫁に電話をして「〇〇の電話は故障しているか？」と聞くと「そんなことないよ」という返事を聞いて初めて

「やられた！」と思った。そこで銀行に電話して「先程振り込んだお金を引き出せないようにしてくれ」と言ったら、「通帳と印鑑を持って窓口に来てもらって手続きをしないと出来ません」という返事で、結局50万円は引き出されなかった。

#### 四、被害を減らすために

##### (1) 加害者として狙われる若者

こうした詐欺事件の加害者として若い者が狙われている。例えば呉で500万円をだまし取った事件で懲役8ヶ月の判決が出たが、詐欺事件で実刑が出たのは初めてである。このように刑が軽く執行猶予になることが多いことが問題だと思ふ。

しかも、先頃中学2年生の子どもが50代の女性から70万円をだまし取った事件があったが、どんどん低年齢化している。

##### (2) モフル・ハザード社会を変えるために

自分が実際に被害に遭ってみて、次のようなことが大事ではないかと思っている。

##### ① 被害者の意識を変える

被害にあった人は、恥ずかしくて誰にも言えないという人が多い。しかし自分は世間にごんごん訴えてアピールしていくことが必要だと思ふ

##### ② 世間の考え方を変える

被害にあった人が悪い、という感覚が世間の人にはあるが、騙した方が悪いのである

③ こうした詐欺事件を起しても刑が軽い事実関係の確定が難しい

④ マスコミが突っ込んで、被害にあった人のことを取り上げる

##### (3) 被害を減らす具体策

なりすまし詐欺などの被害が多いのは日本と韓国である。その韓国では2012年4月から、300万円(約20万円)以上のお金が入金された場合、向こうの口座についても10分間は引き出せない、という制度を導入した。自分の経験からもこうした制度が実現して欲しいと思ふ。

##### 交流の中で

話が終わった後、お茶を飲みながら感想などを話し合っただけでした。町内会長さんも町内で被害があったら、と参加して下さいました。今までは被害にあったことは聞いていないが、実際には被害に遭っていても黙っているのかも知れないとのことでした。

感想としては、これまで持っていた被害イメージとは異なっていた、という意見が多く出ていました。また、今日の会に誘ったけど、自分はそんな被害には遭わないから、という気持ちを持っている人が多いなあ、という印象を受けたという人も。

その他、事件後早く重い刑を確定することに對しては冤罪との兼ね合いがあること、加害者として狙われる若い人にどうやって働く喜びを身に付けてもらうか、等の意見も出ていました。

**第1回目の建築物耐震補強  
工法説明会を開催!**

9月4日10時より17時まで建設会社、設計事務所などの事業所の方々を対象とする耐震補強工法の説明会を備後地域地場産業振興センターで開きました。

南委員長の挨拶のあと、まず、当NPO法人の福山建築物耐震診断等評価委員会の藤井和司委員による「地震建築く福山地域の現状と課題」と題した講演がありました。

福山市地域で想定される地震には、①プレート間でおきる地震として、南海トラフ巨大地震、東南海・南海地震、②プレート内地震として安芸灘く伊予灘地震、石鎚山脈北縁西部く伊予灘、長者ヶ原芳井断層によるものなどのほか、③どこでも起こりうる直下地震があるとか。その直下地震には福山市庁舎直下のほか、福山北断層、断層層も無視出来ないそうです。

地震により揺れ、津波、液状化が起こる。福山市内、なかでも2号線のそばあたりで海拔2.5m、それより南では海拔1.4m〜0.6mで浸水の深さは0.5m〜2.0mと予測されている。また福山城の南は江戸時代の干拓により出来上がった街であり、地震波の増幅や液状化の恐れのある地盤です。

これまでの大きな地震の揺れにより建物は全階が沈下したり中間階の崩壊、柱梁接合部の崩壊、玄関ドアの変形などが起きている。

東日本大震災時の茨城県内の鉄骨の体育館の被災は耐震診断や改修を行うことで軽くて済んでいるという状態が見られたそうです。

福山市の小中学校の耐震化率は、県全体では全国最下位、県内でも23市町村中22番目で、全国では1782市町村中1742番目と全国の市町村の終わりから数えて40番目にあります。

補強工法の説明は(一財)日本建築総合試験所の「建築技能証明書」を取得した五企業の方から説明がありました。

色々な工法は耐震補強を行う際の騒音、振動、施行機間の改善や外部作業のみを行うことでマンションなど建物を使用しながらの工事を実施できるなど様々な工夫の特徴や施行上の留意点などが説明されました。



藤井委員による講演



受講者は100名ほどになりました

**編集後記**



朝晩涼しくなり、秋の気配を感じますね。

我が家はもちろん食欲の秋! 主人の実家はフルーツの美味しい世羅町、今年もぶどう狩りと栗拾いを楽しみました。そして、読書の秋。外が暗くなるのが早くなってきたので、夕食とお風呂を早めに済ませて、子どもたちと絵本タイム。普段は怒ってばかりですが、寝る前に絵本を読むと穏やかな気持ちになります。

皆さんは、どんな秋をお過ごしですか? (原)

